

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成17年2月3日(2005.2.3)

【公表番号】特表2004-501487(P2004-501487A)

【公表日】平成16年1月15日(2004.1.15)

【年通号数】公開・登録公報2004-002

【出願番号】特願2001-586549(P2001-586549)

【国際特許分類第7版】

H 05 B 39/02

H 03 F 1/34

H 03 G 3/10

// H 02 M 7/48

【F I】

H 05 B 39/02

H 03 F 1/34

H 03 G 3/10 A

H 02 M 7/48 X

【手続補正書】

【提出日】平成15年1月16日(2003.1.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電圧入力および電圧出力を有する増幅器(202)であって、飽和まで動作され、発散波形を生成するように構成されている、増幅器と、

前記電圧入力および前記電圧出力に電気接続する負帰還(204)と、

前記電圧入力および前記電圧出力に電気接続する正帰還(202)と、

を備えるプログラム可能制御システム。

【請求項2】

少なくとも1つの検出器入力および1つの検出器出力を有し、前記検出器入力が前記電圧出力に結合されているしきい値検出器と、

前記検出器出力に結合されたパルス発生器と、

パルスを受け取るように前記パルス発生器に結合された第1のスイッチと、

をさらに備える請求項1に記載の制御システム。

【請求項3】

第1および第2の出カリードと入カリードとを有するフリップフロップを備え、

前記入カリードが前記パルス発生器に結合され、さらに、

前記電圧入力で電圧を受け取るように前記フリップフロップの第1の出カリードに結合された第2のスイッチと、

前記電圧入力で逆の極性の電圧を受け取るように前記フリップフロップの第2の出カリードに結合された第3のスイッチと、

をさらに備える請求項1又は請求項2のいずれかに記載の制御システム。

【請求項4】

ソフトスタート回路においてプログラム可能電力曲線を発生するための方法であって、

入力端子および出力端子を有する増幅器(202)を提供するステップと、

発散出力波形を発生するように前記増幅器を構成するステップと、  
前記入力端子に電位を印加するステップと、  
負荷(1202)の電源(1206)に前記出力端子を結合するステップと、  
を含む方法。

【請求項5】

さらに、

前記入力端子および負荷に感知デバイスを結合するステップであって、負荷が電流感知特性を有する、ステップと、  
電流感知特性に対応して前記感知デバイスでデータを受け取るステップと、  
データに応答して前記入力端子への電位を制御するステップと、  
を含む請求項4に記載の方法。

【請求項6】

さらに、発散出力波形の電圧変化率の増加に応答して、前記第1および第2の抵抗器の値を修正するステップを含む請求項4または請求項5のいずれかに記載の方法。

【請求項7】

周期波形を発生するためのプログラム可能回路であって、  
電圧入力、電圧出力、負帰還(204)、および正帰還(206)を有する増幅器であって、前記負帰還と正帰還が前記電圧入力と前記電圧出力の間で電気接続される、増幅器と、  
前記増幅器に接続された少なくとも1つの検出器入力端子、および1つの検出器出力端子を有するしきい値検出器(1302)と、  
前記検出器出力端子に接続されたパルス発生器(1304)と、  
前記パルス発生器からパルスを受け取るように結合されたスイッチ(1306)と、  
を備え、前記周期波形が前記電圧出力に現れるプログラム可能回路。

【請求項8】

第1および第2の出力リードと一つの入力リードを有するフリップフロップ(1402)であって、前記入力リードは前記パルス発生器と前記スイッチとの間に結合され、前記第1および第2の出力リードは第1及び第2の電力入力に結合されており、前記第2の電力入力は前記第1の電力入力の逆の極性を有する、フリップフロップとをさらに備える、請求項7に記載のプログラム可能回路。

【請求項9】

入力と出力を有する増幅器(202)と、  
前記入力と前記出力との間に結合された利得手段(306)と、  
前記入力と前記出力との間に結合されたタイムラグ手段(304)と、  
を備え、前記回路は、電圧が初期電圧から回路が飽和するまで印加される場合に、前記回路の出力を表すプログラム可能電力曲線を生成するように構成されていることを特徴とする、ソフトスタート回路。

【請求項10】

前記電力曲線が発散波形であることを特徴とする、請求項9に記載のソフトスタート回路。